



博物館通信

春号



2022年4月発行 Vol.83



天文知識

天体の種類!?

夜空にはたくさんの星が輝いていますが、すべて同じような天体なのでしょうか？

じつは、大きさや形などその星の特徴によって、恒星、惑星、衛星、星雲、星団、銀河などいろいろな種類の天体に分けられています。

身近な天体

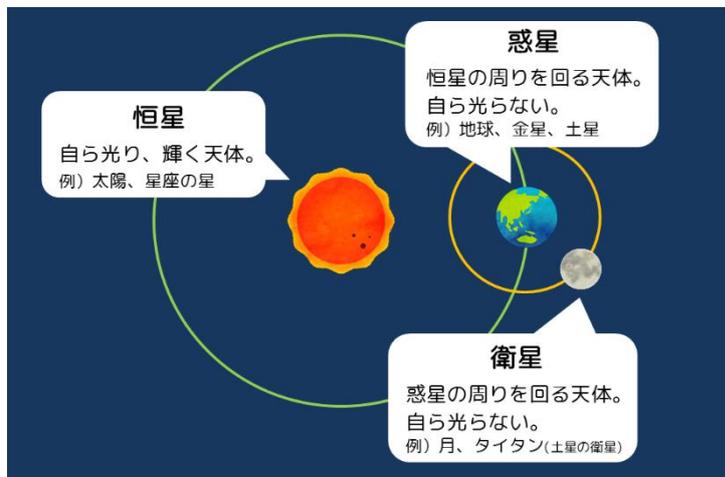


一番身近な太陽や星座を形作っている星など、夜空に輝いて見えている星の多くは、自ら光を出し輝いています。そのような星を「恒星」と呼びます。

その恒星のまわりを回っている天体を「惑星」と呼び、私たちの地球も惑星の1つです。ほかにも水星や金星、木星など合計8個の惑星があります。惑星は、恒星と違って自分では光を出さず、太陽の光を反射し、輝いて見えています。

さらに、惑星の周りを回っている天体は「衛星」と呼ばれています。地球の周りを回っている“月”は衛星です。惑星によって衛星が全くなかったり、70個以上あったりと衛星の数は異なります。衛星も惑星と同じように自分では光を出さず、太陽の光を反射しています。なので、月も輝いて見えていますが、太陽の光を反射して見えています。

太陽や太陽の周りを回っている惑星、衛星をまとめて「太陽系」と呼びます。太陽系には、他にも彗星や小惑星、準惑星などの天体もあります。



太陽以外の恒星でも惑星が見つかっており、それらを「太陽系外惑星」と呼びます。太陽系外惑星にも、熱い惑星や寒い惑星などいろいろな環境の惑星があり、その中に地球に似た惑星もあるかもしれないと、たくさんの研究者が観測を行っています。

春のプラネタリウム番組は、太陽系外惑星についてのお話だよ!!



彗星・小惑星・準惑星??

「彗星」は、大きさが数km~数十kmで、岩や氷などでできています。地球からは、ほうきのような長い尾をひく姿を見ることができます。その姿から“ほうき星”とも呼ばれます。

「小惑星」は、岩からできており、多くは火星と木星の間に存在しています。日本の探査機が探査に行った「イトカワ」「リュウグウ」が有名です。

「準惑星」は、惑星に似ていますが、惑星よりも小さな天体です。現在、冥王星、ケレスなど5つの準惑星があります。



彗星や小惑星を調べると太陽系誕生の謎などが解き明かされていくんだ。



ぶちリニューアル

プラネタリウム室が新しく!!

博物館の開館当初（1960年）、プラネタリウムは設置されていませんでしたが、もっと多くの人に宇宙について知って学んでもらおうと、1990年に設置されました。そして、これまでに宇宙の誕生や天文現象についてなど様々な投映をしてきました。

2018年に行った博物館リニューアルでは、星を映し出す“投映機”を新しくしました。しかし、プラネタリウムのイスや床などはプラネタリウムができてからそのまま…。ということで、今年3月にイスや床をキレイにリニューアル!!



リニューアル前



リニューアル後

ふんいきが変わったね!!
いろんなイスがあってど
れに座るか悩むね。



パネル展も開催中!!



ぶちリニューアルにあわせ、プラネタリウムの歴史やこれまでに投映してきた番組などを紹介したパネル展「プラネタリウムのおはなし～岡山天文博物館の歴史～」を開催しています!!

これまでに投映した番組の中から職員のお気に入りも紹介しているよ!みんなが見たことのある番組は紹介されているかな?



イベント情報

※詳しくは当館HPをご覧ください

ゴールデンウィークスケジュール

5/3 (火)、4 (水)、5 (木)

プラネタリウム & 4次元デジタル宇宙シアター
の投映回数を増やして、
皆さんをお待ちしております!!

GW 限定
OPEN

Takeout lunch



博物館の周りには飲食店がない...ということで
GW 限定で博物館駐車場にオープンします♪
お弁当?パン?カフェ?何のお店が来るかな?



プラネタリウム春番組



「宇宙のオアシスを探して

- 奇跡の星への旅 - Music by 葉加瀬太郎

宇宙のどこかに地球のように、生命をはぐくむことができるオアシスのような惑星はあるのでしょうか?

現在、浅口市にある188cm反射望遠鏡やせいめい望遠鏡を含めた世界中の望遠鏡が太陽系外惑星の探査を行っています。それらの探査によって、これまでに見つかった太陽系外惑星はどのような環境なのかCG映像でご紹介します。



岡山天文博物館

<http://ww1.city.asakuchi.okayama.jp/museum>

〒719-0232
岡山県浅口市鴨方町本庄 3037-5
TEL/FAX 0865-44-2465

